

外務省海外安全情報（危険情報：抜粋）

ヨルダンへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2024年07月26日（継続/内容の更新）

シリア及びイラクとの国境地帯	〔レベル2〕 「不要不急の渡航はやめてください。」（継続） その国・地域への不要不急の渡航は止めてください。 渡航する場合には特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください。
その他の地域	〔レベル1〕 「十分注意してください。」（継続） その国・地域への渡航、滞在に当たって危険を避けていただくため 特別な注意が必要です。

【ポイント】

- シリア・イラクとの国境地帯では、ヨルダン側では治安が比較的安定しているものの、シリア・イラク側では治安情勢が依然として不安定です。同国境地帯には近付かないでください。
- 観光地や都市部等においてテロの可能性があり、外国人が多く集まるショッピングモールやレストラン等も標的となり得ます。テロの脅威について十分に留意し、最新の関連情報を入手の上、不測の事態に巻き込まれないよう努めてください。

【概況】

- (1) ヨルダン国内の治安状況は概ね安定していますが、イスラエル・パレスチナ情勢、シリア情勢の影響等により、ヨルダン国内でテロが発生する可能性は引き続き存在しています。「イラク・レバントのイスラム国」(ISIL) は、シリア・イラクでの支配地域を喪失し、勢力を弱めており、ISIL による直接的なテロの脅威は低下したと考えられますが、その支持者等によるテロ等、不測の事態が発生する可能性は引き続き排除されません。
近年発生した主なテロ事件は以下のとおりです。
 - ・2018年8月 バルレカ県フヘイス市における爆破事件
 - ・2019年2月 バルレカ県サルト市でのテロリスト摘発における治安機関員の殺傷事件
 - ・2019年11月 ジェラシュ・ローマ遺跡における刃物による観光客襲撃事件ヨルダンにおけるテロ・誘拐に関する詳細については、「テロ・誘拐情勢」
(https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_054.html) もあわせてご参照ください。
- (2) 2023年10月以降、パレスチナ・イスラエル間の武力衝突に反応して、イスラエル等に対する抗議を目的としたデモ行進や抗議集会が金・土曜日を中心にヨルダン全土で行われ、参加者の一部が警察と衝突する事案も確認されています。
- (3) そのほか、個人同士の争いが当事者の出身部族同士の争いに発展し、銃器が使用され死傷者が発生した事例もありますので、巻き込まれないように十分注意する必要があります。

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ： <http://www.anzen.mofa.go.jp>
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、

外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903
外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306
外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047
までお問い合わせください。

弊社では海外安全情報が発出された場合、原則として〔レベル1〕「十分注意して下さい」までの地域、国についてツアーを実施しており、ツアー実施にあたりましては、現地情報を十分把握し、安全で円滑な日程となる様配慮して運行管理を行っております。